

Medical Technology News

臨床検査室新聞

LOOK



クオンティフェロン(QFT)

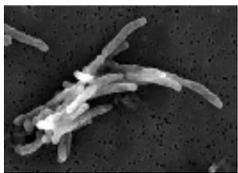
(遊離インターフェロン-γの測定)

【臨床的意義】

- 1 初期感染結核の診断、活動性結核の診断、肺非定形抗酸菌症の鑑別
- 2 潜在結核の診断補助
 - ・ 集団発生の際の感染性結核患者との接触者の定期観察検査
 - ・ 感染性結核患者との接触機会の多い医療従事者の定期観察検査

【検査依頼方法】

- 1 要予約外注検査→事前に検査室(内線226)に！
 - ※検査受託日は月～木曜日(祝祭日前日を除く)
 - 2 採血時間→当日のA11時～12時
 - 3 専用採血管→ヘパリン加採血管(10ml用)
 - 4 専用依頼伝票
- ※お問い合わせは検査室(内線226)までお願いします。



ABO不適合輸血は最も避けなければならない医療事故です。なぜなら、患者の状態や輸血された血液型にもよりますが、直ちに死亡事故に直結する可能性があるからです。しかし死亡事故は繰り返して起きているのが現実で、その多くは初歩的な事務的ミスによるものです。

本当に怖い異型輸血

5時間後に死亡例も！

そして、O型の患者への異型輸血が最も死亡率が高く、少量の輸血で死亡する例も報告されています。

平成元年に報道された事故では、看護師が別の患者用の血液を取り違えて搬出、更に照合・確認を怠り、A型の血液をO型の患者に輸血し、患者は30ccの異型輸血で5時間後に死亡したという事例があります。

異型輸血の副作用は輸血直後か

2009年8月
第2号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



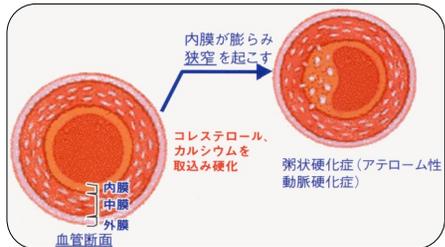
チェック!



PAD(下肢閉塞性動脈硬化症)は、アテローム性動脈硬化により下肢動脈の狭窄、閉塞が起こる疾患で、血流障害がひどくなると組織の壊死

あなたの血管は大丈夫ですか？

により下肢を切断しなければならぬ事もある大変恐ろしい病気です。PADのリスクファクターとして男性、高齢、喫煙、糖尿病、高血圧、高脂血症があげられ、PAD患者の75%は冠動脈あるいは脳血管に起因するイベントで死亡するという報告があります。検査室ではABI検査(両足首と両上腕の血圧を同時に測定し、足首/上腕の血圧比により評価)をPADの診断の一つとして行っています。毎月約100件の検査が行われ、そのうちの約20%の方にPADが疑われるABI0.9以下の検査結果が出ています。ABI検査は問診で自覚症状を確認した場合より3倍のP



ほと time

7月26日、米ツアー女子ゴルフに参戦した宮里藍選手は4年目にして初優勝!! そのインナーでの涙に大変感動しました。また、石川遼選手は17才でありながら、あのしっかりとした的確な受け答え! 考え方! 尊敬しちゃいます!! 見習いたいものですね!

検査の基本

シリーズ採血管その②

血液一般用紫キャップ(写真右)は、採血管の線まで採血し、数回転倒混和(シエイク)してはいけません(を)してください。

【注意】前号紹介の黒キャップの採血管(写真左)は、有効期限厳守・アルミ袋保存でお願いします。特に使用頻度が少ない部署は、アルミ袋を密閉する必要がありますので、血液担当者にご相談ください。



編集後記

第2号も無事発行することができて、ほっとしています。

第1号を読んで、「次も出るんだよね!」あるいは「新聞を読んで納得!」という声を頂き、発行してよかったです。ありがとうございます。

第2号の発想もぜひ聞かせてください。

